

# 「地域で深める親子の関わり～子どもを中心につなごう！地域と親子～」の概要

## 審議テーマの設定

背景:現代の青少年の課題として、コミュニケーション能力の不足、自己肯定感の低下などによる、ひきこもり、いじめ等の問題の深刻化などがあげられるが、その背景にある、少子化・核家族化・情報化の進展や、地域における人と人との関わり希薄化などによる、青少年の健全育成の基盤である親子と地域のつながりの変化のなかで、「地域で深める親子の関わり」をテーマに審議を行う。

## 親子を取り巻く環境

子育てへの不安や負担感の増大  
子育てにおける家庭内及び地域とのコミュニケーションの減少  
地域における親子の居場所や多様な人々と関わる機会の喪失  
社会的役割を持ち承認される機会が乏しい子ども

## < 平成 24 年度・中間報告 >

### 地域活動に親子が参加することの意義

親子にとっての意義  
家庭内コミュニケーション不足の解消 / 地域の人との関わり、親同士・子ども同士の関わり / 子どもにとっての新たなチャレンジの場 / 子どもの育ちを見守ってくれる仲間づくり / 父親が活躍できるチャンス / 向き合うだけでなく親子で一緒に前を見る機会  
地域にとっての意義  
地域のつながりの再生 / 安全安心に暮らせるまちづくり  
保育園、幼稚園及び小学校にとっての意義  
子どもが抱える課題を皆でフォロー / 地域教育とのバランスの回復

### 地域活動を通じて親子が関わりを深めていくための視点

地域住民と専門的な知識や経験を持った人材をつなぐ役割を地域の人が担い、3人以上で企画する  
地域の力(人と人をつなげる力や学校等を支える力など)を借りる  
親同士をつなげる機会を増やし地域を再生(学校等を支える地域を活性化)させることを意識している  
親が企画や運営に参加し、地域の大人と交流できる  
気軽に(負担に感じずに)参加できる  
参加者同士の対話やふれ合いを重視する  
地域行事や学校など身近な機会や場を活用する  
強制はしないで自由に参加できるようにする  
親子が主役になって楽しめる  
参加者の工夫・発想を大事にする  
子どもの魅力を親に伝えることを意識している  
地域に参加する楽しさや面白さを育てることを意識している

つなぐ

開く

遊ぶ

## < 提言 > つなぐ・開く・遊ぶ ～親子の関わりが深まる地域活動～

### 「つなぐ」

#### ポイント1：地域の人材をつなぐ

地域活動の活性化には、色々な層の人たちをつなげる環境を整えることが重要。専門知識のあるNPOが事務局機能を担ったり、コミュニケーションを円滑にするファシリテーターを入れたりすることで、活動推進の可能性が広がる。

#### ポイント2：地域の絆を深める

地域の子どものためという目的を共有することで、地域の絆を築くことが重要。地域の協力を得るには、一人あたりの負担が大きくなりすぎない配慮や全員一律の参加を強要しない工夫が大事。

### 「開く」

#### ポイント3：地域を親子に開く

地域活動を通じた親子の成長や地域が居場所という感覚は、地域に関わる過程で生じる。親子それぞれが主体的に参加することや第三者を介することで、互いの新たな面を発見でき、親子関係が深まる可能性がある。

#### ポイント4：地域活動を多様な参加で運営する

町内会、学校、ボランティアなど、地域を巻き込む世代間交流の場となることが重要。親にも役割を与えることで、自分の子どもだけでなく地域との関わりが広がる可能性がある。大学生の参加や子どもによるワークショップなど、子どもが主体的に関われることが大切。

### 「遊ぶ」

#### ポイント5：遊びの中で親子の関係を深める

現代の生活は、皆で共感しあう「PLAY」がそぎ落とされる傾向があることから、遊びの要素を加えることが重要。

#### ポイント6：遊びを子どもが作る

受身の学習だけでなく、遊びを通して体感や試行錯誤から学ぶ機会を取り戻すことが重要。地域活動に遊びの要素を取り入れ子どもの主体性を育て、子どもを中心とした地域と親子のつながりを作ることが大切。

< 地域をつなぐために >  
地域のネットワーキングを裏で支えるお世話係の事務局機能を育てていこう！  
地域のコミュニケーションを円滑にするファシリテーターを育てていこう！

< 地域を開くために >  
開かれた地域活動を企画運営できるコーディネーターを育てていこう！  
子どもと大人をつなぐ大学生等と地域とのつながりを育てていこう！

< 遊びを通じて深めるために >  
子どもの主体性を遊びを通じて育てていこう！  
遊びを通じた親子のコミュニケーションを育てていこう！



地域での実践をさらに推進していくために



## 平成 25 年度 実践・検証

地域活動を活性化するためのポイントは何か  
地域活動を通じて親子が関係を深めるポイントは何か

### アンケート調査

対象  
県内の子どもの育成支援に関わる地域活動実践者(NPO、子ども会、青少年指導員、社会福祉協議会、子育て支援拠点など)及び学校等関係者(保育所、幼稚園、小学校など) [321 件回答]  
内容  
「地域活動を通じて親子が関わりを深めていくための視点」を意識して活動しているかを質問  
ヒアリング調査  
さらに回答団体のうち 14 団体に対してヒアリングを実施

### モデル事業

趣旨  
「地域活動を通じて親子が関わりを深めていくための視点」を踏まえた実践検証  
実施内容  
子どもたちが地域の大人や大学生などと一緒に地域で活動できるお祭りを企画・運営  
「蒔田公園で遊ぼう！One Dayキッズパーク」  
日程：平成 25 年 9 月 28 日  
場所：蒔田公園(横浜市南区)  
内容：屋台、ゲーム、ものづくり体験など  
参加者：地域住民など 1000 名程度

反映

## 行政に期待される役割

地域と親子がつながるようインターネットを活用した情報共有の促進や地域イベント開催の環境づくり  
地域人材の連携を支えるコーディネーターやファシリテーターなどの人材活用  
子どもの自主的な遊びを支える人材の育成

青少年の健全育成を進める地域活動と連携し、遊びを通じた子どものコミュニケーション能力向上の取組みの推進